

平成26年度当初予算における政策的新規・充実予算枠予算要求の内容と査定結果【予算措置を見送ったもの】

建設局予算要求の内容			検討が必要な事項	今後の対応
事業名	事業概要	要求額		
自転車走行環境整備PR戦略業務委託 「京・走快プロジェクト」	自転車に関しては、近年、全交通事故に占める事故の割合が増加し、特に歩行者に対する重大な事故が増加している。こうしたことから本市では、自転車通行環境の整備に取り組んでいるところであるが、更なる整備効果を発揮させるため、様々な媒体を活用した自転車通行環境整備の必要性等をPRすることにより、自転車通行ルールの遵守率を向上させ、歩行者・自転車・自動車が安心・安全に通行できる道路環境を創造する。	6,300	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討	文化市民局が実施する「京都市交通安全基本条例の推進及び京都市自転車安全条例の充実」と趣旨・目的が類似しているため、融合を図り実施する。
いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 普通河川治水安全度調査（89河川）	<p>本市においては、これまでから、河川改修と下水の雨水幹線整備を2本柱とする浸水対策を強力に進めてきた。その結果、平成12年から平成21年の10年間で床上、床下浸水の被害戸数の年間平均は約45戸となっており、前の10年間と比較して約6分の1に、昭和50年頃との比較では約20分の1と、大きく減少している。</p> <p>しかし、近年の局地的豪雨は更に激しさを増しており、早急な浸水対策は喫緊の課題となっている。（平成22年から平成24年の年間平均は約175戸）</p> <p>本事業は、本市が管理する準用河川31河川、普通河川291河川のうち、現況把握の優先度が高いと考えられる市街化区域及びその周辺に位置する89河川を調査対象とし、現況の河川断面や流下能力を調査することにより治水安全性を把握し、今後の河川整備に向けた基礎資料とするものである。（平成26年度は89河川のうち、30河川を調査予定）</p>	30,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討	河川整備プログラムに基づく8河川について、過去に浸水被害が発生した河川として最優先に対策を講じるべきものとして取組を進めることから、河川整備プログラムの対象となっていない89河川の整備は、当該8河川の整備の全容を把握できた後とする。